



みんながじまんでできる学校を！

大塔っ子

佐世保市立大塔小学校  
学校だより 校長 酒井元治

令和6年度 第1号 4月9日発行

## 616名で「みんなが自慢できる学校を！」

令和6年度、大塔小は109名の新入生（新入生の数は佐世保市内トップです。）を迎え、616名のスタートです。毎年のことながら、始業式の日には、みんなドキドキ、ワクワクの朝です。年に3回ある始業式の中でも、この1学期の始業式は格別。みんな生き生きとした顔でやってきます。クラス替えでは誰といっしょになったか、担任の先生は誰かも大きな関心事です。どうだったでしょうか？ご家庭ではどんな話がありましたか？きっと、「仲のいい〇〇さんとまた一緒だった。」とか、「残念ながら別のクラスになった。」とか、あるいは「担任の先生は面白そうな先生やったよ。」とか、いろんな話で盛り上がったのではないかと思います。もちろん、「喜びの声」とは言えないような話もあるかもしれません。お子さんが、仲のいい友だちと別れてしまったことに悲しんでいるときには、「新しい友だちをつくるチャンスよ！」と励ましてくださったり、「担任の先生と合うかどうか不安。」といったことを話しているお子さんがあれば、「どんな先生にもいいところあるはずよ。人ってすぐにはわからないんだから、いいところ探してごらん。」とアドバイスをしていただいたりすれば幸いです。親御さんのかける言葉で、子どもたちの意識の方向は変わってくるはずですよ。それでもなかなか不安が解消できないときには、担任や学校までご相談ください。

さて、年度初めの始業式、学校教育目標の確認から校長講話が始まります。私の目指す学校は「みんながじまんでできる学校を！」です。この「～学校を！」で切れているのは、言わずもがな「～学校をみんなで作っていきましょうよ。」という意味です。みんなはもちろん「子どもたち」「学校全職員」そして「地域のみなさん」です。「じまんでできる学校」が初めからあって、そこに子どもたちが来てるんじゃない。主役となる子どもたちが能動的にかかわることによって、やっとその実現につながるんです。

この「みんながじまんでできる学校を」というのは、どこに行っても「僕、私の学校は最高だよ！」といえる学校、今も未来も胸を張って「日本一の学校だよ」といえる学校です。多くの子どもたちは近い将来一度はこの地を離れるでしょう。そんな未来で「僕、私の通っていた大塔小学校は、どこの学校にも負けないくらい素敵な学校だよ。」と言えたらどんなにいいでしょう。何を自慢するかは3つ。

一つ目は「**仲間が自慢できること**」。学校にはいろいろな子どもたちがいます。それぞれは違って当たり前。時にはいさかいもあるでしょうが、集団生活の中で仲間意識を育てていってこそその学校です。考え方が違う子どもたちの集まりです。けんかもあるかもしれませんが、もちろんいじめは許しませんが、けんかにも学びがあります。そして、今年は「一人を大切にすること」を強調しました。学級の中の誰か一人でも悲しい思い、寂しい思いをしていたのでは「じまんでできる仲間」とは言えないということです。

二つ目は「**先生が自慢であること**」。そのために私たち教師は、子どもたちがわかる楽しい授業、一人一人の子どもたちの理解に努めます。

三つ目は「**地域が自慢であること**」。大塔小はこれまで地域に見守られ育てられた学校です。その地域の良さに気づかせ、人のぬくもりと有難さを再確認させたいと思います。昨年度よりコミュニティースクールにもなり、様々な地域のご支援をいただきながら教育活動を深めています。

**今も、未来も子どもたちが自慢できる学校**、これが私の目指す大塔小学校です。

## 学校は何をすることで？～大塔っ子につけてほしい4つの力～

もちろん学校生活のほとんどの時間は学習であって、様々な教科を勉強しています。そんな中、学校の学校たる所以は何か、それは「大人になるための練習をするところ」だと思ふのです。つまり、学校とは社会性を培うところ。子どもたちは十数年後には大人になります。どうせ大人になるんだったら、素敵な大人、格好いい大人になってほしいものです。学校でいろいろなことに挑戦して、失敗して、小さな成功体験を重ねて、仲間とうま



くいたり、いかなかったり、時にはちょっとした挫折を味わって、そして人とつながることの喜びや温かさを感じて、そうやって大人になるための練習を、学習を始めとする学校生活の中で積んでいく、それが学校というものの存在意義だと思います。



そして、そのために大塔っ子に特につけてほしい力は4つ。

- 1 決める力（他人に左右されることなくしっかりと自分の考えを持つ力）
- 2 表す力（決めた自分の考えをうまく表現する力）
- 3 とびだす力（他人の目を気にせず、失敗に臆することなく物事に挑戦する力）
- 4 つながる、つなげる力（うまく他人とつながる力、他人を集団につなげる力）

3の「とびだす力」は昨年度まで「チャレンジする力」としていました。子どもたちを見ていると、やるべきこと、あるいはやった方がいいと思っても「他の人がやってないから」という理由、つまり他人の顔を気にして行動できないという場面をよく見ます。他人を気にせずチャレンジしてほしいことから「とびだす力」としました。（昨年度第1号と7割は同じ文章です。）

### 令和6年度 大塔小学校職員紹介

	1組	2組	3組	4組	もみじ	養護教諭
1年	村山 美芳	下村 仁美	志田 孝子	本村 優	浅海 明子	吉田 裕子
2年	猪村 昇	瀧 真弥	岩永美由紀	遠谷多美子	たんぼぼ	事務主幹
3年	中山 律子	松尾なつの	初村 翔子	ひまわり1	中村 佳世子	木本 繁
4年	窪田 未結	手島 文	松永 一文	田代 賢次	ひまわり2	栄養職員
5年	町田 洋子	大井手佑衣	小屋根恵理子		本村 裕子	氏原 優希
6年	森 天衣子	山部 凌太	島尾 英樹			

#### 専科・少人数等

6理科,6音他(主幹)	谷村 真名	5理科,書写他(教務)	川原 雄一	3社会・6算数他	木村紀代美
4理科,書写他	濱田 千草	初任者研修指導員	梶山 和彦	学校管理員	石田 勝人
サポートスタッフ	宗像みどり	支援員	志方 早苗	支援員	森永 淳子
学校司書	市瀬めぐみ	カウンセラー	川上 真樹	ICT支援員	村岡加代子

#### 給食調理師

田中 洋子	中山正子	大川内智恵子	並木仁美
中島かおり	宮原陽子	濱田千加子	竹下奈緒美
石上稚香子	小畑一恵	志久裕子	岩田望

#### その他

教頭(6理)	中村 哲哉	校長	酒井 元治
--------	-------	----	-------

どうぞよろしくお願

いいたします。



これまで30年間本校の学校医としてお力添えをいただいていた高橋小児科；高橋令紫先生が3月で退任され、しもまえ泌尿器科クリニック；上条将史先生が新たに学校医として就任されました。高橋先生、長い間ありがとうございました。

#### 4月行事予定 ( )の数字は学年です。

日	曜	行事等	日	曜	行事等
10	水	入学式 委員会活動(5・6)	22	月	身体測定(6-1) 聴力検査(1) 家庭訪問 1
11	木	身体測定(2・3) PTA 合同専門部会	21	火	身体測定(6-2) 聴力検査(2) 家庭訪問 2
12	金	身体測定(4・5)	24	水	朝の読み語り(3・4) 身体測定(6-3) 家庭訪問 3
15	月	内科健診(2・6)	25	木	尿検査(全) 家庭訪問 4
16	火	1年生給食開始 地区別児童会(全)	26	金	尿検査(予備) 歓迎集会・歓迎遠足
17	水	朝の読み語り(1・2) 避難訓練(全)	29	月	☾昭和の日
18	木	身体測定(1) 全国学力テスト(6) 県学力テスト(5)	30	火	家庭訪問 5
19	金	授業参観(全) PTA 総会	家庭訪問や学年行事の詳細については、担任からお知らせがあります。		

